



杉谷 洋一 議員

合併による行財政改革は？

町長

組織機構の見直しを考えている



まちづくり会議

【杉谷】 少子高齢化が進み、時代に即応した行政運営と持続可能な財政構造の確立をめざす必要がある。

合併による行財政改革は進んでいるか。

【町長】 定員管理適正計画に基づき行財政改革を進めている。

町民にこれまでと同様のサービスを提供しながら、組織機構の見直しを考えている。

【杉谷】 政府は過去最多の女性閣僚を登用し、女性が活躍しやすい社会づくりを目指している。

【町長】 そのような思いである。

【杉谷】 公民館と地域自主組織の統合は。

【町長】 既存の公民館のあり方は、二重行政の防止や公平なサービスの提供に配慮する必要がある。

地域自主組織の活動拠点や事務局機能、運営に対する支援などの体制整備が必要である。

公民館と地域自主組織に対する、新たな体制や支援策などの検討をしている。

学校給食の方針は？

教育委員

食の大切さや感謝の念を育てる

感謝の念を育てる

【杉谷】 給食は食べる楽しさや、おいしい食事と出会う喜びなどが体得でき、五感を耕し、豊かな人間性を育むと考える。

学校給食の方針は。

【教育委員長】 学校給食法と本町食育推進計画により、豊かな自然や文化の特性を生かし、食の大切さや人々への感謝の念などを育てることをめざしている。

地産地消率は7割を達成している。

【杉谷】 食物アレルギーを持つ児童・生徒の対応は。

【教育委員長】 対応依頼者は、保育園で31人、小中学校では29人あり、

代替食などで対応している。

【杉谷】 アレルギー対応マニュアルは。

【教育委員長】 保育園ではアレルギーマニュアルを、小中学校ではアレルギー個別対応マニュアルを策定し、保護者・学校・給食センターが連携をはかりながら対応している。



楽しい給食時間